社会貢献活動（森林整備活動）の実施報告

（一社）旭川林業土木協会

活動内容	「外国樹種見本林」の環境整備を実施

１　実施年月日　：　平成３０年６月６日
２　実施場所　　：　北海道旭川市神楽
　　上川中部森林管理署国有林３６３林班（外国樹種見本林）
３　参加会員数　：　２１企業及び事務局　　１３５人
４　活動目的・内容：

当協会では、平成２６年４月に上川中部森林管理署との間で「社会貢献の森における森林整備活動協定」を締結しています。この協定に基づき、今年も活動のフィールドである「外国樹種見本林」で、森林管理署と協力して、５年目となる環境整備活動を実施しました。

今回の活動には、会員企業など前年を上回る１３５名が参加しました。開会式では、当協会の新谷会長から市民や観光客が安心して散策できるよう整備を行いたいとの挨拶の後、中澤文彦森林管理署長から活動に対する感謝の御挨拶をいただきました。今回、実施した作業は、木材チップ１８トンの遊歩道への敷き均し、遊歩道沿いの刈り払い、投棄されたゴミの回収、サクラの苗木１０本の植樹などを手分けして行いました。

三浦綾子記念文学館に隣接する「外国樹種見本林」は、市民の憩いの場だけでなく、広く観光客も訪れる旭川市の観光エリアとなっていますが、多くの市民が関わる見本林の保全活用や地域の行政・企業と連携した周辺環境の整備等の取組が評価され、平成３０年１１月に「三浦綾子記念文学館と外国樹種見本林」は「北海道遺産」に選定されましたので、当協会では今後も協定に基づく活動を積極的に行う考えです。

活動写真

開会式での新谷会長の挨拶

開会式の模様（背後が文学館）

木材チップの敷き均し作業

遊歩道沿いの雑草木の刈り払い作業